**現場の週報から（令和4年1月３日～2月6日）**

**【1月3日～1月9日】**

■介護老人保健施設いずみの杜：佐藤佑典さん

・3日にご利用者Aさんと、虹が丘のゴルフ場へ打ちっぱなしに行ってきました。ご本人は静まり返った夜中に、何時間も傘を素振りするほどのゴルフ好きです！雪が残る寒空の中、なんと200球も打って正月から素敵な笑顔がたくさんみられております。

・4日には4人で近くの神社へ初詣に行ってきました。皆さん思い思いに手を合わせ、良き新年になるよう願ってきております。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・冬休みになり、再びミミズクキッズが通っています。年始は習字の宿題がてら、一緒に新年の書初めをしました。もともと得意な人。恥ずかしいとなかなか筆を持とうとしない人。反応はそれぞれでした。ですが、子供達の書く様子を見ながら「ほら見て！上手に書くね～」「おりこうさんだね～」等と言いながら、徐々に書き始めました。子供達にも「大丈夫だから、書いてみましょう！」等と励まされ、「上手上手！」「そうかな？」

等、お互い声を掛け合って書き上げた人もいました。出来上がりの作品は、個性もあり皆さん素敵でした。子供達も習字のうまさにビックリして「〇〇子さんに宿題やって貰えばよかったな」と言っていました。今日が最後のミミズクキッズの日です。皆さん「またおいでね～」「ありがとね～」等と優しく声を掛けてくれました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・６日　2階ユニットにて大崎八幡宮へ初詣イベントの実施。今年一年の健康とコロナ禍の1日も早い終息をお参りしてきました。

・７日　1階ユニットにて東照宮神社へ初詣イベントの実施。天候にも恵まれ、今年も良い年となるよう皆でお参りをしてきました。

・９日　成人の日ということで、あおばの杜スタッフの柿沼明莉さんが新成人となり、式典後事業所へ立ち寄ってくださいました。振袖の晴れ姿を事業所のお年寄りの皆さんへ披露してくださり、涙を流して喜ばれるご利用者や、「綺麗だねー！」と感動される方、短時間ではあったものの、新年ならではの素敵な時間を2階ユニットの皆様と過ごすことができました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・お正月中、ご家族さんの面会があり、本当にしばらくぶりでお会いした方もいらっしゃいました。かるた取りやオセロをしたり、音楽を聴いたり、思い思いに過ごされました。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・Mさん9日昼頃お亡くなりになりました。お休みの職員も駆けつけて最後のお別れをしました。夕方、はごうの杜を出発され、利用者さんも外までお見送りをして頂きました。出発前に奥様と一緒に体を拭かせて頂きました。ご家族さんからは「面会に来ると、いつもきれいな姿を見て、大事にされていると感じました。本当に感謝しています。ありがとうございました」とのお言葉を頂きました。点滴などで関わって下さった、菊池D、桑原GM、橋本Nsから「大変お疲れ様でした」岩尾GMからも「村上さん、スタッフさん、皆さん頑張りました」と労いのお言葉を頂きました。日中、初めてお看取りを経験した新人の近藤愛叶さんは「悲しいです」と涙をこぼされました。少し落ち着いてから、ユニットスタッフで振り返りを行いたいと思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・３日あやめユニットでＩさんの誕生日会を開催。手づくりケーキを食し、皆さまから一言ずつお祝いの言葉を頂戴しながら、時には別の方が感激され涙ぐまれるという心が温かくなる誕生会でした。その際撮影した写真は、もはや今年のベストフォトじゃないかという位笑顔溢れる写真でいっぱいです。佐野文彦さんはプロのカメラマンだ！とスタッフ間でも盛り上がりました。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・7日に七草粥をしました。七草の種類について皆さんにお聞きするとすらすらと出てくる方もいて、七草を刻みながらナズナがカブ、すずしろは大根と知り「そうだったのね」と驚かれる方も、一緒におかゆ作りをしました。今年一年元気でいられるようにと話されながら召し上がっておりました。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・7日に七草がゆを食べました。「季節のものだからね」「おいしいね」など感想を話されていました。七草の話をしたときには、「セリ・なずな・・・・・」と、みなさんすらすらと答えていました。正月来たと思ったら、おかゆ食べたし、年々時間が立つのが早くなって困るわ。と笑いながら話す方もおり、楽しいひとときとなりました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・年末年始のお休みをはさみ、４日に営業開始となりました。新年の挨拶を職員同士、ご利用者お一人お一人と交わしみんなの笑顔があふれています。昨年、皆さんと一緒に手作り絵馬を作成しました。「健康に暮らしたい」「お金はあればいい」「夢はパイロット」様々な願いが書かれていました。オミクロン株が仙台でも確認されましたが、通常通りに営業が出来る事、元気にご利用者の方が来て下さることに感謝し、今年１年も変わらぬ「当たり前の日常」を守っていきたいと思います。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・6日に塩釜神社へ初詣に出掛けました。寒い日ではありましたが、天気は良かったため外出を満喫できたようです。昼食は皆でパスタを食べました。一緒に出掛けた職員からもとても楽しく、ついついはしゃいじゃいましたと報告がありました。参加者全員が楽しめたようです。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・新年を迎えご利用者の方々も久しぶりの再会に会話が弾まれていました。曾孫さんが16人いる方は、「お年玉の金額がおどげでねえ～」と目じりを下げながら教えて下さったり、「俺は餅が好きなんだけど、息子が餅嫌いなんだ」等、話がつきないようでした。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・ゆづるの近所の熊野堂神社へ初詣にお出かけしています。みんなで散歩がてら歩いての初詣となりました。みなさん想い想いに良き一年となるよう祈願されておりました。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・9日　新年会を実施しました。新年のお祝いを込めて、以前好評だったお寿司を出前で頼みました。「美味しい！」と笑顔が多く、職員も一緒に楽しみながら過ごせたと思います。特に男性の利用者さんにはノンアルコールビールですが、楽しく飲まれ気分も盛り上がっていました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・７日の朝食に七草かゆを作りました。「七草かゆなんて、珍しいね～。病気知らずで長生きするね～」と、昨年入居されたRさんは笑顔で召し上がっておりました。年中行事を一つ一つみなさんを迎えることの喜びと、昔からある伝統を入居者さんに伺いながら行うことができることに感謝です。

**【1月10日～1月16日】**

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・各ユニットでは「だんごさし」が行われました。色とりどりの団子を木にさしています。お話を伺うと「長寿祈願をしながらさしました」「団子の食べごろをかんがえながらさしました」「色合いを気にしながらさしました」皆さんいろいろ考えながらさしていたそうです。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・12日は新年会をしました。おはぎを食べたいと希望があり作って食べました。「あー美味しい美味しいねー」と口々に話していました。刻みの方も少しずつ食べました。おはぎの後は、カルタ取り、今年の抱負を話しました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・9日の夕食の時間に、2階のユニットで居酒屋イベントを行いました。事前に食べたいものを聞いたり、居酒屋さんっぽいメニューを考え、装飾やスタッフの衣装も居酒屋さんのような雰囲気になるように工夫しました。メニューを見ながら普段の食事とは違ったものを注文されたり、ほとんどの方が、いつもより箸のすすみが良かったようでした。利用者さんからもスタッフからも楽しかった！との声が聞かれたので、また企画したいと思います。

・小規模のSさんからいただいて作っていた干し柿が出来たので、2階のユニットでいただきました。干し柿好きのYさんがとても喜ばれていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・甘酒を作って皆さんで味わいました。また、昨年中止になっていた地域のどんと祭、今年は執り行われ、ご利用者も一緒に行ってみました。

・LINE動画でお孫さんと久しぶりにお話するSさん。本当なら会ってお話したいこと「おばあちゃん、私、結婚するんだよ。」と、お相手の方と共にお顔をみせて下さいました。なんとも微笑ましく、私たちスタッフもつい、顔を出させて頂きました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・隣町に近い神社へお参りに行きました。

・11日に鏡開き、12日に小正月の水の木に団子をさす作業を、皆さんで行ないました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・10日鏡開きをし、皆さんでそのお餅を召し上がりました。

・14日どんと祭（皆さんにどんと祭行くか確認し、全員で青麻神社に行きました。）初めて行った方もおり、とても喜ばれていたり、以前行った方で久しぶりに来たと言った方もおりました。その後、初詣もされ、「今年は行けなかったからよかった」と言われておりました。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・11日、新春餅つき大会を行いました。スタッフが自前の杵と臼を持参し、利用者さんの前で餅つきの実演をしたり、実際に男性利用者さんにも餅つき体験をしていただいたりと久々に盛り上がりました。その後はついた餅で餅花を作成して、皆さんとお汁粉で会食しました。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・16日に両ユニットでそれぞれ新年会を開催しました。２階ユニットでは午前中に習字の書き初めを行い、午後にはトランプやボードゲーム、けん玉、輪投げ等懐かしい遊びを行いました。おやつ前にはスタッフとご利用者と一緒に白玉、おしるこの調理も行い、おやつの時間にはおしることケーキを美味しく頂いています。３階ユニットではスタッフが獅子舞に扮してご利用者一人一人の無病息災を願って頭をひと噛みしました。その後はスタッフによる手品やフルートの演奏を披露しています。笑顔いっぱいで楽しまれていました。昼食は赤飯に刺身と豪華な食事を美味しく頂きました。今年に入りコロナが再度蔓延しており中々大規模なイベント開催は難しいですが、ソーシャルディスタンスを守った小規模な催しの企画をしていきたいと思います。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・12日に新年会を各ユニットで行いました。年末からお願いしていた地域のボランティアさんに、感染症対策を実施して頂きながら、踊りの披露と充分き距離を保ちながらリズム体操を一緒に行いました。約２年ぶりのボランティアさんの踊りの披露に皆さん見惚れており、一緒に真似をしながら踊る方、「素敵ね」とお着物に惚れ惚れする方と様々な楽しみ方をされていました。最期に代表してMさんが「大変素晴らしいものを見せて頂きました。ありがとうございました。」と御礼の言葉を述べて下さいました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・14日のどんと祭のニュースを拝見しながら、「ありゃ～こんなに寒いのに裸で清めてんの～」「どんと祭は若い頃は家族で行って無病息災を願掛けしてきたけど、今は家の中にいてもニュースでどんと祭の活気を感じられるから、行ったと同じだと思っているよ」と、みなさんそれぞれの想いを話しておりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・13日初詣に行って参りました。体験でいらした酒井様もご一緒し、とても楽しまれてご帰宅。その日のうちにご利用を決めて頂けました。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・ご利用者さん達は、どんと祭のニュースをみて、「寒そう」「お正月も終わりだね」など季節の流れを感じていました。また、14日に杜の家ゆめみで新年会を開催しました。その中で、手作りの羽子板をお渡ししたときには笑顔がはじけていました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・1階、2階各フロアで誕生会があり、どちらも90歳を超える寡黙な方の誕生を周囲の方々が敬意を持ってお祝いしている姿がとても印象的でした。みなさんおいしそうに誕生ケーキをいただいておりました。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・新年会のイベントを行いました。年明け初めのイベントになっており、お昼にお寿司とお餅を頂いております。皆さんから「うまいね。」、「お腹いっぱいになったよ。」とお声を頂いております。レクリエーションで福笑いを行いました。一人一人が違った顔になり、完成した顔を見て、笑顔が見られておりました。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・12日新年会イベントを行いました。午前中は手作り鳥居に参拝していただき、絵馬に今年１年の願い事を記入していただきました。昼食前にご希望の飲み物で乾杯した後にちらし寿司の昼食を召し上がっていただきました。午後からの余興では獅子舞を職員一人が演じ、ご利用者の頭を噛む時に「邪気退散！」と言うと皆さん頭を下げられていました。その後ご利用者２名が駒回しされ、くじ引きをご利用者に引いていただき当たった職員が皿回しをしたり、苦いレモン味が１個シュークリームの中に入っているロシアンルーレットを行いました。昔フラダンス教室に通われていたご利用者から１ヶ月前から踊りを教わり、新年会当日水戸黄門の音楽に合わせてハワイのムームーを来た職員の踊りに合わせてみんなで踊りました。ご利用者から「ご飯も美味しかった。踊りも華やかで良かったよ～」と言われ大盛況でした。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・13日に新年会を行いました。全員参加のカルタ取りや羽根つきなどを行いました。スタッフ同士の羽根つきでは、点数をとられた方はご利用者から顔に落書きをされ笑いが出ていました。後日、ご利用者から「新年会は最高だったね。いろいろ工夫してやっているんだね。楽しかったよ。」と労いの言葉をいただきました。新年を迎え今年も皆さん元気に過ごしていただけたらと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・室内にて、職員の獅子舞を披露しました。お囃子の音楽に合わせて、「カッカッカ」と獅子舞の歯がぶつかる音で登場すると皆さんから拍手喝采！皆さんの健康を祈願し、治してほしい所を聴きながら練り歩きます。「私は目が良くなるように」「私は足が元気になるように」「持病が良くなるように」様々な願いを聴き、獅子舞にパクっとかじられると「ありがとう、縁起物だね。もう元気になった！」との声も聞かれました。「来年も頼むね、また来てね」と獅子舞を笑顔で見送ってくださいました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・16日に新年会イベントを実施しています。コロナ陽性者の人数が増えている中、皆さんイベントを楽しみにしていて頂いており、多くの方が参加されました。午前中はスタッフによる出し物、昼食はお刺身が大好評、午後からは初詣に行く方、書初めやタッチングをされる方にわかれました。2月のイベントは「寿司イベント」を予定しています。今後も感染防止対策の徹底を行い、イベントを楽しみたいと思います。



■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・室内にて、職員の獅子舞を披露しました。お囃子の音楽に合わせて、「カッカッカ」と獅子舞の歯がぶつかる音で登場すると皆さんから拍手喝采！皆さんの健康を祈願し、治してほしい所を聴きながら練り歩きます。「私は目が良くなるように」「私は足が元気になるように」「持病が良くなるように」様々な願いを聴き、獅子舞にパクっとかじられると「ありがとう、縁起物だね。もう元気になった！」との声も聞かれました。「来年も頼むね、また来てね」と獅子舞を笑顔で見送ってくださいました。

**【1月17日～1月23日】**

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・コロナ感染者増加に伴い、近隣のグループホームの管理者さんと情報交換を行っています。地域のお年寄りの方々を守る気持ちは法人が違ってもみなさん熱い志で関わりを行っているのだと改めて感じました。そして、これからは自法人のみならず、地域の他法人の方と協力して行くことが求められる時代に移り変わって行くのだと身を持って感じると共にそうあっていきたいなと思いました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・18日当初予定していたバイキング大会は、コロナ感染拡大によりソーシャルディスタンスを守りながら縮小開催としました。皆さん食べたいものを選びながら普段よりおなか一杯召し上がっておりました。

■介護老人保健施設いずみの杜：荒木卓也さん

・以前、利用されていたIさんが19日から再度老健を利用されております。状態が落ちてしまい元気がない様子と聞いていましたが、老健に来るとスタッフの名前を呼んで「手伝わなくて良いの？」とIさんおきまりの懐かしい言葉を聞かせて頂いております。忘れてしまったのでは？と思っていた私の名前も思い出して下さり、「〇〇さん～」と声をかけて頂くのがとても嬉しく思いました。もう会えないと思っていましたが、こうしてまた会えて日常を過ごすことが出来る喜びに感謝し新しい物語を一緒に作れたらと思いました。

■ショートステイわかなの杜：齋藤匡晴さん

・19日におやつ作りイベントととして、今回はパフェ作りを行いました。お菓子やあんこ白玉を準備し、皆さんの好きなようトッピングをして頂きました。個性あるトッピングが多く、ご利用者も職員も楽しんで笑いあふれるイベントとなりました。男性陣も女性陣に負けじと甘いデザートを頬張っておりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・18日は六丁目のゆず庵に外食イベントで行って参りました。（お店の方々がとても親切だったので、お勧めです）コロナウイルス陽性者が増えてきている時期でしたが、「もう、しばらく行けなくなるかも、、、、」と言う想いもあり、実施させて頂きました。食事をしない時にはマスク着用等々対策をしっかりと行い、美味しい料理に舌鼓。「来られて良かったね」と皆さま笑顔でした。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・Tさんが21日で100歳の誕生日を迎えられました。22日デイサービスでお祝いの会を開催しました。始めにお祝いの舞で職員３名による仙台すずめ踊りを披露しました。その後100歳のお祝いとしてデイサービスセンターから賞状とケーキをプレゼントさせていただきました。「私は何も準備してないの」と恐縮され「嬉しくて涙が出る」と目を抑えられていました。他ご利用者から「おめでとうございます！」「100歳に見えない！若く見えますよ」と言葉が飛び交いご本人がとても感激されたお誕生会となりました。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・Mさんのお看取りのミーティングを行いました。それぞれ職員ができた事から認めあい、次にできなかった事、課題など話し合いました。家族さんからは「いつも面会に来る度に、髭もきれいに剃られており、服装も自宅で過ごしていた時のように整えて頂いていました。お父さんは大切にされていたんだと感じ、感謝しかありません」とのお言葉を頂きました。課題については、今後職員さんと話し合いを持ちながら改善していきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・月曜日、金曜日とプチイベントとして鍋パーティーを行っています。ホールに置かれたカセットコンロで鍋の食材が煮込まれ美味しい匂いに皆さん食も進んだようでした。秋田出身者によるご当地鍋として本場のきりたんぽ鍋や寄せ鍋を食べ心も体もほっこりみんなで温まりました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・ミミズクフォトコンテストの金賞を澤田さんが受賞し、写真のIさんにも表彰をしたいと利用日にあわせて行いました。ミミズクフォトコンの説明をし、Iさんより一言をいただきました。Iさんは「いずみの杜デイだけのコンテストだと思っていた。法人全体で800人弱の中で1番をとれるなんて嬉しい。ぜひ来年も連覇をしたい」と涙ながらに仰っておりました。ぜひ連覇を狙いたいと思います！

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・19日、男子クッキング会を行いました。メニューは豚汁、いなり、天ぷら。参加者からの提案で納豆の天ぷらも作りました。とてもおいしく調理後もその話題で盛り上がっていました。会を通して久しぶりに再会した方もおり、お互い元気な姿を見ることができて良かったという話も聞かれていました。

・21日外食のイベントを企画していましたが、出前企画に切り替えて対応しました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・１月はお誕生者の方が多く、誕生会を行いました。「こんな年になって祝ってくれるなんて」「泣く程嬉しい！生きているうちはずっと来るからね」と。感染者が急増し、ゆかりの事業所周辺の学校でも陽性者が出ております。より一層水際対策に力を入れ、当たり前の毎日を過ごせるようみんなで協力していきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・「新年会」を行いました。当日は、岩切にある料亭「開山」で弁当を出前して頂き、豪華な昼食を皆さん、美味しく召しがっておられました。午後からは、初詣に行き、ご本人・ご家族から感謝の言葉を頂き年初めの行事を楽しむ事が出来ました。

**【1月24日～1月30日】**

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・29日、１階にWさんが入居されました。毎日自販機でジュースを購入するのが楽しみとのことだったので、ゆづるの敷地内には自販機がないので、近所の公園までお散歩しながらジュースを購入することを続けていきたいと思います。まだ入居から２日ですが、テレサテンがお好きだそうで、たくさん歌って下さいました。これから、たくさんコミュニケーションをとりながら、お好きなこと、やりたいことを一緒に考えていきたいと思います。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・ミミチャレのエリア最終発表が２日間行われました。４名のチャレンジャーは遅くまで悩みながらも報告書等仕上げていました。他職員も非常に協力的で、チームで最後まで頑張っています。発表を終えたチャレンジャーは最終発表に向け、もうひと頑張りです。皆、いい表情をしていました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・小春日和が続き、けやきの中庭から温かい日差しが降り注いでいたある日、「もう春ですか？今年も気持ちがポカポカ温かくなる季節になりますね～」と笑顔で話されていたKさん。暦での上では、もうすぐで立春を迎えるようになり、入居者のみなさんも春を待ち望んでいるようです。

■さくらデイサービスセンター：星恵美子さん

・さくらの杜のコホート応援に三邉さんが行っておられます。ご利用者の方から、「この頃、ほらあの男の職員さん、三邉さんだっけか？見かけないね？居ないとさびしいなや！」という声が聞かれることが多くなりました。三邉さんファンの方々、もうしばらくの辛抱です。また、さくらDSの送迎のヘルプに来て頂いた通リハの職員さんには「久しぶりに会えて嬉しい、よく家忘れないで覚えていたこと」と再会を喜んでいました。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・11月末にお看取りした後、すすめていた方が直前でキャンセルになる等でしばらく空室ありましたが、本日ようやく新規の方が入居決定となりました。今回は実態調査や連絡調整、書類整備なども皆で手分けして行い、1名入居決定するまでの難しさやご家族の葛藤などを体感できたのではないかと思います。なんとかつなげたご縁なので、その方の人生に少しでも長くお付き合いできるよう、全力で関わらせていただきたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：佐藤佑典さん

・24日に以前より企画していた、びっくりドンキーでの食事会があったのですが、感染状況を踏まえテイクアウトに変更し事業所での開催としました。皆さんお若い胃袋のようで、大きなハンバーグをペロッと平らげておりました。

また27日にはスイーツイベントを開催し、美味しいケーキや甘いものなどをたくさん召し上がりました。特に３Fのご利用者は女性が多いので、皆さんとても喜ばれ、楽しいひと時を一緒に過ごすことが出来ました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・毎日緊張感といつ陽性者が出てもおかしくない状況、終息の見えない毎日に不安が募ります。けれども毎日の聞き取りや体調観察、水際体策を地道に行っていくこと、換気に消毒とマスク、持ち込まないにはしっかり予防！それにつきると思います。不安はありますが困った時はお互いさまで助け合える法人が一番心強いお守りです。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・25日に１月生まれの方で誕生会を行っています。皆さんでホットケーキを作ったり、昔の思い出話を披露して下さいました。皆さん笑顔になり楽しい時間を過ごす事が出来ました。今後もご利用者が楽しまれるイベントを企画し実施できればと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・お誕生日を迎えられたお二人のお祝いをさせていただきました。ケーキに灯されたロウソクの灯を吹き消したのち、当事者の方より一言がありました。「この年になって、こんなにお祝いして頂いて嬉しくて涙が止まりません」感極まるそのお姿を拝見し、その場に集うみんなで感動を分かち合いました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・コロナ感染者が増加する中、以前のように「コロナが怖いから」とお休みされる方が少ない印象です。心配な声があったり入浴を控えたりされる方もいらっしゃいますが、利用されているかたも「withコロナ」の想いなのかもしれません。利用者さんの想いを大切に感染予防対策をしていこうと思います。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・24日はすいとんイベントでした。皆さん昔を思い出しながら一生懸命こねて下さいました。元料理人の利用者さんが中心となってあんこをまぶしたすいとんも作って下さいました。ちらほらと、利用者さん３回目の予防接種をされている利用者さんも出てきました。接種状況の把握を行って行きます。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・面会が抗原検査後15分以内ということで、自粛される家族が多くなってきています。代わりにはなりませんが、洗濯物を取りに来られた際に、LINEビデオ通話を繋いだ状態でタブレット端末を持って行き、お顔を見ていただいています。ご本人もご家族も「顔を見られて安心した」と喜ばれています。今後もお節介をしていきたいと思います。

**【1月31日～2月6日】**

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・３日は節分です。例年２月イベントとして鬼に扮した職員に対して豆まきをしていました。今年は２月イベントがご利用者の声でお風呂イベントの為節分イベントはありませんでした。少しでも季節を感じていただきたくて鬼の絵をお菓子の包みに付けてテーブルに何個も置き、３日のレクリエーションで鬼倒しをやりました。「鬼は外～」とお一人ずつお手玉を投げられ大いに盛り上がりました。今年１年みなさんが健康で幸せに過ごせますようにと願いを込めて行いました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・営業自粛期間中に出勤したスタッフ皆で、普段行えないところの掃除を行いました。気分を一新して6日より営業再開しています。朝の送迎時皆さん、ご家族から「大変だったね」「身体に気をつけて」など温かいお言葉を頂きました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・3日に豆まきを行いました。偶然選曲した豆まき音頭がとても好評でたくさんの方が手拍子をしておりました。鬼に扮した職員も手拍子が大きくなるにつれてテンションが上がっているようでした。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：丹野怜さん

・３日に節分イベントを開催しました。スタッフによるさくらの杜劇団でももたろうを演じました。花さか爺さん役でご利用者のWさんにも参加していただきました。Wさんから「ももたろうがやりたかったな」と主役を演じたいとは思っていなかったので、次回やる時は主役をお願いしようと思います。みなさん、スタッフの茶番劇に笑い楽しい時間を過ごしていただけたようでした。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・3日恵方巻イベントがありました。コロナ感染予防対策としてご自身で召し上がる分のみをそれぞれで巻いて頂きました。丸ごと一本で召し上がる方。一口で食べやすく切る方。それぞれのスタイルで個性豊かな恵方巻が出来上がり、皆様笑顔で召し上がって頂けました。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・節分イベント行いました。一人一人に恵方巻きを作って頂きました。北北西を向いて、皆さんで召し上がっております。「美味しいね」、「お腹いっぱいになったよ」と声を頂いております。午後からは豆まきを行っており、一人一人が思い思いに豆を鬼に投げておりました。コロナ対策をしっかり行いながら、イベントを今後も行っていきます。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・新しくご利用になられる方がいらっしゃいました。以前のデイではマスクを付けないと他者とトラブルになり利用が難しいとゆかりの杜へ来られました。契約の際に驚いたことがあり、以前のデイでは職員が手伝いやすいように利用の際は、スウェットのような服を用意してくださいと言われていたとの事です。その為かご家族は「おトイレもだけど、脱いだり着たりも下手になっちゃって。こんな人いないと思うくらい手がかかると思います。どんなのを用意したらいいのかしら」と大変苦慮されていました。新しいものではなく、ご本人が若い時から着慣れている服、着たい服、好きな服装で構いませんとお伝えすると「そんな風に言って頂けるんですか、ご迷惑おかけすると思って…」と。些細な事ではありますが、これも権理の一つと感じました。ゆかりの杜でご本人らしく過ごしていただけるよう、お手伝いさせて頂きたいと思います。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・3日ご利用されているご家族より豆を頂きましたので、職員とIさんで鬼の仮面を付け庭に出て豆を投げ厄払いを皆さんと一緒に行い笑顔も沢山みられました。



■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・ＣＨにて節分の豆まきをしました。「福は内、鬼は外」と皆さんで豆を鬼めがけて投げていました。お昼には、恵方巻を食べましたが、皆さん完食されていました。こども園からは、可愛い鬼達が玄関先まで来てくれ、豆入れをプレゼントしてくれました。お返しにと、利用者さんはご自分のお菓子を手を伸ばして渡していました。

■グループホームはごうの杜：名取直保美さん

・3日にこがねユニットで節分イベントを行いました。昼食は恵方巻をお出ししました。午後に、赤鬼、青鬼に扮した職員に、利用者さんが豆に見立てた紙を丸めた「豆」を投げ「鬼は外、福は内」と鬼を退治しました。鬼を見て大笑いされる方、怖がって逃げる方、鬼役の職員が顔にペイントをしたのを見て「お肌荒れないですか？」と心配して下さる方、様々な様子を見せて頂き、今年も無事春を迎える準備ができた気が致します。

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・節分があり、ユニット毎に男性職員が鬼に扮し、皆さんコロナ禍での鬱憤を晴らすかのように手加減せず豆を投げて退治していました。何かと制約のある毎日ですが、少しでも笑いのある生活を送れるようにしていきたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・節分イベントをしました。豆を準備し甘酒が飲みたいと希望があり出しました。スタッフが鬼役となりました。またお一人お一人鬼の面作りもしました。個性豊かな鬼が並びました。

■グループホームけやき：大﨑美智子さん

・３日は志賀野さんが握った太巻きをみなさんで召し上がり、午後には、感染対策を行いながら、おひとりおひとり豆まきをしております。「いや～いや、こんなにいい日はないね～」とみなさん節分を存分に楽しんでおりました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・３日は節分とのことで、佐野文彦さんが全身タイツ生地の赤鬼セットを持参されています。静かに無言の鬼退治イベントを！と思っていたものの、急きょ中止としました。皆さんも佐野さんの赤鬼姿が見たかったようです。来週はリベンジします。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・2日はWさんのお誕生日でした。ご本人よりお赤飯、マグロ、あんこが好きと伺ったので、マグロ丼とおしるこを用意してお祝いしました。

・3日に節分のイベント行いました。恵方巻を作って昼食に恵方巻を食べ、午後からは鬼ボーリングと鬼に向かって豆まきを行いました。鬼に豆をぶつける豆まきを楽しむ方、豆を食べるのを楽しまれる方、皆さんそれぞれに楽しまれました。おやつには鬼の顔をデコレーションしたカステラを食べ、皆さん笑顔になっていました。今年1年、良いことがあるといいねと話されました。



■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・コホートも解除となり、日常の光景が戻ってきました。利用者さんへマスク着用の声掛けを意識して取り組んでいきます。他事業所からの応援に来ていただいた皆さんや現場を支えてくださった皆さんに感謝いたします。コホート中に応援に来てくださった皆さんは、はじめて関わる利用者さんなのに、情報だけでてきぱきと自主的に動く姿が目に焼きついています。そして初めて会う方も多い中、チームワークの良さに正直びっくりしました。本当にありがとうございました。

■介護老人保健施設いずみの杜：鈴木篤史さん

・３日節分の日にちなんでイベントを開催しました。スタッフが鬼に扮してご利用者に豆まきを行って頂きました。「鬼は～外、福は～内」と掛け声をあげて下さる方もいました。鬼に向かって強めに豆を投げられた方もいました(笑)。おやつの時間にはプリンが出ましたが、節分の日用の綺麗な飾り付けがされており皆さんで喜ばれ美味しく食べられていました。



■杜の家ふたば：平澤文さん

・３日午後に節分イベントを実施しています。当初は恵方巻も作成予定でしたが、コロナの感染拡大もあり急遽購入したものでの会食会となりました。会食後は獅子舞や鬼がホールをねり歩き、久々に盛り上がったイベントになりました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・3日節分の豆まきをしました。居室ごとに鬼が回り、今年も鬼が舞い込まないようにと思いを込めて、豆をぶつけておられました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・3日杜家ゆづるでも節分の催事が行われました。ご利用者さんにもお手伝いいただき恵方巻を作り、みんなで健康を願いながら太巻きをかぶりつきました。午後には、鬼に扮した職員にご利用者さんが厄払いとして豆をぶつけてみんなで季節行事を楽しみました。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・節分の日に豆まきを行いました。職員手作りの鬼にむかって力強く投げている姿がありました。「健康」やコロナがおさまりますようになど、様々な想いを込めて腕を振っていました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・３日節分：恵方巻作りをしたり、豆まきをし、とても楽しまれ大笑いされておりました。

新しい体制になりまだ慣れない所がありますが、皆さんで協力しながらご本人と楽しく過ごせるように声をかけながらしております。今出来る事を本人に聞きながら対応していきたいと思います。